人物往来 ■12■

最も尊敬する25年来の親友

ピアニスト・北海道教育大学岩見沢校准教授　**深井　尚子**

1年間に渡って私の交遊録をお話してきましたが、今月が最終回となりました。最終回は、私の25年来の親友を紹介したいと思います。榊原洋一氏は、小児科医で子どもの発達がご専門です。NHKの「すくすく子育て」にレギュラー出演されていますので、お子さんを持つお母さんは、ご存知の方もいらっしゃると思います。榊原先生は、現在、お茶の水女子大学の副学長を務められていますが、もとは、東京大学病院小児科部長をされていました。

彼と知り合ったのは、今からもう25年前になりますが、東京大学病院小児科の入院病棟でのコンサートにうかがった時からです。当時の東大小児科病棟は、病気で学校に行けない子どもたちのために、「めだかの学校」という院内学級が設けられていました。そこでは、学校で習う勉強以外にも、音楽や美術などの芸術的な学びも外部講師を招き盛んに行なわれていました。

また、「めだかの学校」には、古いグランドピアノも置かれていました。子どもたちのために演奏会をしてほしいと頼まれて、出前演奏に行ったのが、榊原先生との出会いでした。当時の病棟は、お母さんも一緒に寝泊りして看病できる環境でしたので、さまざまな病気をかかえた子どもたちとそのお母さんたちと音楽を通して交流でき、辛い闘病の中、少しでも音楽で心を癒してもらえたことは、私の演奏経験の中でも貴重な思い出となっています。

「めだかの学校」演奏会のあと、榊原先生とスタッフの方がお茶とケーキを準備してくださり、いろいろ語り合いました。榊原先生は、発達障害などの著書もたくさんあり、当時はまだ一般的ではなかった、ADHDなどの子どもの発達障害について教えていただきました。榊原先生は、東京大学医学部、アメリカの大学で小児科医として活躍されていましたので、全世界にある「子ども学会」で会長を務められたり、シンポジウムを企画されたり、現在も年に何度も海外の学会やシンポジウムに出かけています。たいへんお優しいお人柄で研究者としても尊敬されており、人望が厚く、彼の周りにはいつもたくさんの人々が集まってきます。榊原先生は、クラシック音楽愛好家で、一般の愛好家はあまり聴かない、ブルックナーやマーラーに凝ったかと思えば、シューベルトのピアノソナタに夢中になったり、私とは音楽の話で盛り上がります。最新機器もあっという間に使いこなされ、スマホには、膨大な数の音楽、世界各地で撮った写真などが詰まっていて、いつも驚かされます。

私が東京に戻った時は、榊原先生ともう一人の友人の3人で、「三人の会」を設けてくださって、25年来の親しい友人として心置きなく楽しい時間を過ごします。たいへんお忙しい方ですが、決して忙しいと口に出すことはなく、膨大な仕事をこなしながら、音楽を聴いたり、読書をしたりする方です。教養が高く、いろいろな分野の知識も豊富で、お話していると時間を忘れてしまいます。

この1年、故人になられた尊敬する方々を紹介してきましたが、最終回は、今、現在、私が最も尊敬する友人のお話にしました。来月からは、また、新しいテーマで紙面でお目にかかります。よろしくお願いいたします。（おわり）

小児科医　**榊原　洋一**さん

陽彩随筆

親として

芝木　俊治

長男が生まれて、まだ七、八か月くらいだった頃のことだ。友人家族と一緒に温泉に行ったことがある。

子供を抱いて風呂場に行ったのだが、バスタオルを忘れた。既に服を脱がせていたこともあり、子供を一人風呂場に残したまま部屋に引き返した。ほんの数分のことであり、脱衣所に裸のままでは寒いだろうと、風呂場の中に座らせておいたのだ。

戻ってみると、泣きもせず行った時のままそこに居た。少しの間じっとしているんだよ、と話したことが理解できたのかと思えるようなそんな顔をして座っていた。

しかし、今になって親として何ということをしたのかと猛省せざるをえない。子供がまだ上手に這うことが出来ないからと安心していた。

仮に、父親の後を追って這い出し、湯船に落ちていたら一体どうなっていたか。脱衣所は寒かろうと安易に考え、より大きな危険が見えていなかった。

北斗市の小学生が父親に置き去りにされ、六日ぶりに無事保護されたという報道が、過去を掘り起こす。三十年前の自分とこの父親が重なる。違いは、実際に起こったかどうかだけである。

あの時事故が起きていたなら、赤ん坊を風呂場に一人で置いておくとは、なんという非常識な親なのだと世間の非難を浴びた事だろう。

それが、皮肉にもそうはならなかった。よく、ちょっと目を離した隙にと云う。まったく予期できないこともあり得るが、大体は親の判断の甘さにあるのではないだろうか。そんな言い訳をしたところで、覆水は盆に返るはずもない。

親として…。そんなことを考えさせられた。

郷土文芸

美唄かげろう俳句会

父の日の身に咲きわたる鉄線花　岡田　春水
新茶汲むあつさ寒さに気を配り　白鳥の旋回早し春霞　倉本　眞子
春の川子等の投石音発し　隣家建ち西日とどかぬわが家かな　開　昌女
緑陰のベンチで語る老夫婦

美唄川柳社

朝焼けのビルにこだますかんこ鳥　原野　靖子
雨上がり仰ぐ金星春の宵　古草の根本を分けて芽吹く芝　金田　洋女
われも又忘れものせし散るぼたん　細田　喜久女
涼しげの井筒を写す棹お菓子　運動会少女の瞳輝けり

あれこれとドラマ見るよな母日記　桜井　キヌ
英霊の父に逢えると母は逝く　土屋　裕子
民が皆セレブになるとアベノミクス　本田　俊朗
立ち止まるたびに味方が減る予感　多田　米子
言い訳のあちらこちらにある自尊心　星野　みどり
儚さのサクラ散る日へ命乞い　林　勝義

中空知の郷土文芸

滝川川柳社

さりげない言葉の裏に嘘がある　大橋　政良
すべてやる今日一日が一生だ　深田　勝
練るほどに味の出てくる人間味　柏木　慶助
言い切ってしまえば楽な喉仏　田中　忠幸
終章へ結びなおした赤い糸　今井　秀
長生きの不況に打ちたい句読点
天災に勝る人智はいまだなし　長谷川良実
年輪をなぞれば痛い胸の傷　金谷　樹流
躓きを重ね人間らしくなる　下　きみ子
ムダだとは知ってる妻の薄化粧　柴田キヨ子
引出しにまだつめてある夢いくつ　今井　久子
万華鏡色とりどりの道がある　須藤　秀子
雪降りに冬本番と気合い入れ　畑中　美冷
シンプルに平穏に生き歳重ね　今村くに子
春風の音律聞いて勇気出る　大山口和子
豊かさと幸せ取り引きぶが悪い　渡辺とみ子
青空に誘われ老いの土踏まず　櫻川　康雄　秋山　敏多

滝川俳句会

母の日がめぐり来て母遠くなる　横山　守
晩年の覚悟促す蕗のたう
母の日にほめられ夫にケーキ焼く　泉　恂子
百年の風格を持ち八重桜　佐藤　敦子
リハビリの小さき背や母の日来　田中　恭子
薫風や怒れる大地鎮めませ　内山　清子
住み古りて鯉幟見ぬ町となり　杉浦　裕子
風光る畦に伏せある猫車
窓ガラス拭いて迎ふる初夏の風　内山　清子
すんなりと更衣して小さき旅　吉田とみを
母の日や糊の利きたる割烹着　小林みつ子
春の闇琵琶の音残る伽藍かな　武田　立子
餌台に催促の鳥風薫る
桜餅葉を食べる人たむ人
母の日や娘より届きしエステ券
目覚むれば四方八方春の雪
恩師への文書き終えし昭和の日
新緑の野に忘れたきこと数多
待つことに慣れてゐるはず花未だ
母の日や母の晩年臥すばかり

幸福論

清福の思想

エッセー②

思想の原点について

岩見沢市　**平瀬　春吉**

清福の思想の発想の原点となった要素は三つです。人は皆、生まれながらにして幸せをもっているのです。人生果報です。そして生きるための闘争心をもっていると言えます。それは母体の中で大勢の仲間を押しのけ、かき分け、自分一人が到達して命が誕生するからです。命の尊さはここにあると言えるのです。人生は前世も来世も無く、あるのは現世限りです。たった一人からでも頼られる命なら、しっかり生きなければならない義務があるのです。

交通事故の現場で命を落としたと仮定します。運命論者は、あの人はここで命を落とす運命にあったと捉えます。この世を創り出したという〝神様〟がいるなら、このような残忍で惨い場面はつくらないでしょう。清福の思想では、劣悪な環境に晒されたと捉えます。もしその人が別な環境にあった場合は、命を落とさずに済んだのです。

被災地の人々に対し、自分が安閑に暮らせる恵まれた環境に感謝の念を抱いて恩恵を悟ってもっぱらやすると個々の問題に尽きてしまうのです。恩恵として享受したことにそのまま終わらず、共生共存の精神を発揚して人々に優しく接する心がけなどからボランティア活動や地域活動に携わるなどなど、社会に還元することにより〝幸せ感〟が生まれるのです。生まれるときは一人でも、生きるときは人の世で生きるのです。

「知足」とは、老子の言葉で〝足りるを知ること。身の程をわきまえ、欲張らずに不平不満を抱かない態度をいいます。〝足〟は十分であるの意です（熟語辞典から）。物は必要なときに必要な物を、必要なだけ求めればよいのです。〝足りるを知る〟ことは清福に繋がって、高望みせず、心静かに暮らすことです。〝知足〟は年齢と共に知ると言えます。

育ち盛りは〝物〟を手に入れることが一番の幸せと感じます。極貧に育った私が画材を手に入れた時もそうでした。我慢して入手であり、暗闇から陽の光を見たような感動でした。絵の具は使うと減るので、色彩の乏しい淡白な絵を描いていたことを覚えています。そんな貧しさも悔いていません。逆のそのお陰で今があると思っています。

野生動物は自然の恵みによって生きている、人間もその恩恵を受けて生きています。密林に住む人たちは、食べ物を必要な分だけ手にするそうです。明日を生きるため、どんなに少ない量であっても平等に分け合って食べると聞いています。皆で自然と共生しながら、今ある恵みを次世代に伝えようと暗黙で心がけているんだと思います。

清福も一時的な幸せで終わりがちです。生涯の幸せ感を求めるために、生きることの実質思考から意識改革する必要性があるのです。

岩見沢市のお医者さんガイド

内科・循環器科・消化器科・呼吸器科
竹内内科循環器科
院長　竹内　宏（日本循環器学会認定循環器専門医）
副院長　竹内　裕（日本消化器病学会認定消化器病専門医）（日本呼吸器学会認定呼吸器病専門医）
診療時間　月・火・木・金／9:00−12:00　13:30−17:30　水・土／9:00−12:00　日曜・祝日／休診
岩見沢市美園5条3丁目 TEL(0126)22-2273
http://takeuchiclinic.jimdo.com

内科・消化器科　医療法人社団
竹内医院
院長　竹内　文英
岩見沢市6条西2丁目
☎22−0134(代)

精神科・内科
アルコール専門外来・医療相談室有
医療法人　恵仁会
空知病院
診療時間／月～金 9:00～17:00 土 9:00～12:00
休診日／日曜・祝日・第2、4土曜日
岩見沢市大和1条8丁目1番地
☎(0126)22−2072

内科・呼吸器科
小玉内科
院長　小玉　道郎
岩見沢市2条東1丁目
☎22−0473

●整形外科　●リハビリテーション科
医療法人社団
倉増整形外科
理事長　倉増　秀昭
岩見沢市2条西7丁目
☎22−0288

産科・婦人科
岩見沢レディースクリニック
院長　岡田　匡弘
岩見沢市8条西19丁目
☎23−2222

医療法人　柏葉会
みしま歯科医院
理事長　三嶋　顕
院長　三嶋　直之
7条院　岩見沢市7西5　☎23−7733
栗沢院　栗沢町本町109　☎45−2277

石塚内科医院
院長　石塚　竜哉
診療時間
月・火・水・金　午前 9:00～12:00　午後 1:30～6:00
木・土　午前 9:00～12:00
お昼休み　午後 12:00～1:30
休診日　日曜日・祝日
岩見沢市5条東11丁目
☎22-1718

はなだ皮膚科クリニック
院長　花田　二郎
診療時間
月・火・木・金　9:30～18:00
土　9:30～12:30
お昼休み　12:00～2:00
休診日　水曜・日曜・祝日
住所　岩見沢市3条西4丁目4
患者さん専用駐車場あり
☎24−8624

鳩が丘歯科クリニック
院長　山田　直樹
URL　http://www.hatogaoka-dc.jp/
岩見沢市鳩が丘3丁目1−7
☎0126-24-8418

整形外科・リハビリテーション科
ごうだ整形外科
代表　合田　猛俊
診療時間
月・火・木・金　午前 9:00～12:00　午後 14:00～17:00
水　午前 9:00～12:00
休診日　水曜午後・土・日曜・祝日
岩見沢市大和3条9丁目16番
☎0126-32-5050

医療法人
萌佑会
理事長　森本　繁文
ホームページ http://iwamizawanouge.com/
脳神経外科・リハビリテーション科／脳ドック（予約制）
岩見沢脳神経外科
岩見沢市8条西19丁目8−6（7条通り）
☎(0126)20-1001
介護老人保健施設　**ゆあみーる**
岩見沢市8条西19丁目8−1
☎(0126)20-2311

内科・循環器科
松藤医院
日本循環器学会認定循環器専門医　南　俊郎　院長　南　弥生
岩見沢市2条西4丁目
☎（外来）22-3251

医療法人社団
中村耳鼻咽喉科・呼吸器科
理事長　中村　興治
院長　中村　義敬
副院長　中村佳成子
岩見沢市3条西5丁目
☎0126-22-3321